



地震から受ける被害を減らすために

大地震が発生したときは、家具が倒れたり棚の物が落ちたり、ガラスが割れて飛び散るなどして、普段何げなく使っている物が凶器に変わってしまつてことがあります。特に震度6以上の揺れになると、自由に行動ができません。自宅にいるときに突如大きな揺れに襲われたら、まずは自分の身の安全を確保することが大切です。

地震が起きたときの危険を少しでも減らすために

地震によるけがを防ぐために、住宅・建造物の耐震化、家具などの転倒・移動防止、備品の落下防止、ガラスなどの飛散防止などを事前に行つておきましょう。アパートなどの賃貸住宅では、倒れやすい家具は固定しておきましょう。

地震はいつ起こるかわかりませんが、家の中には危険がたくさんあることを意識し、地震に対する備えを普段からしておくことが大切です。

屋外スピーカーの放送を聞き逃したら

緊急地震速報が出た時などは、市内62カ所に設置している屋外スピーカーから、音声やサイレンで避難の情報をお知らせしますが、豪雨時などには、音声やサイレンが聞こえないこともあります。

そのような状況で放送内容を聞き逃したときは、電話応答装置の専用ダイヤルに電話してください。

電話応答装置の専用ダイヤル (☎0193)

電話応答装置では、屋外スピーカーで放送した緊急地震速報、大津波警報などの特別警報や警報、避難準備情報・勧告・指示などの内容を電話で確認できます。

※幌別ダム（ほろべつダム）の放流などのお知らせは電話応答装置では確認できませんのでご注意ください。

問い合わせ

総務グループ (☎01130)

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

アトランティス

『アトランティス』は、平成10年頃に結成したミニバレーのサークルです。現在、30代・40代の男女7人が在籍し、毎週金曜日の18時から、若草つどいセンターで活動しています。

ミニバレーは、ネットが低いので背の低い人でもアタックやブロックができるほか、ボールが軟らかいビニール製で腕などが痛くなりくいいため、どの年代でも楽しめる生涯スポーツとして知られています。

「私たちのサークルでは、他団体の方と一緒にミニバレーをしたり、ミニバレーの各種大会に参加したりしています」と同サークルの活動について話すのは、サークルメンバーの阿部淳（あべ じゅん）



子どもから高齢者まで楽しめるミニバレーを一緒にやってみませんか



▲他の団体の方と一緒に楽しくミニバレーを行うメンバー

さん。阿部さんは「ミニバレーは競技人口が少ないため、大会には道内外からさまざまな方が参加します。大会に参加した市外の方と知り合い、友達になれるのはうれしいですね」と活動の魅力について話します。

全国規模の大会でも活躍する同サークルですが、阿部さんは、「1チーム4人の大会参加者は、ミニバレーの技術に関係なく、じゃんけんなどで気軽に決めていきます。活動中も、メンバーが子どもを連れてきて一緒に遊んだりもします」と、サークルの和気あいあいとした雰囲気について話してくれました。

初心者の方も大歓迎の同サークル。一緒にミニバレーをしたい方は、阿部さん（☎090-1649-4206）まで。